

## 2019年度 海外語学実習（フランス語）西部カトリック大学

### 海外短期研修参加レポート

演奏学科2年生

西部カトリック大学があるアンジェは、とても落ち着いた雰囲気で気候もよく、街の人もとてもあたたかいばかりでした。クラスには様々な国の人がおり、日本人は3人だけで、周りの人のレベルが高く、最初は先生の話もわからず、毎日が不安でした。同じクラスの友人と励まし合い、今自分にできましたることは何かを考え、文法問題の時に発言したり、少しずつ行動に移していくことで、いつの間にかあまり恐れずに授業に積極的に参加できるようになっていました。また、研修後半では、先生が仰っていることが理解できるようになりました。

授業は、3種類（文法、リスニング、会話）あり、それぞれの先生方、モニターの先生（大学院生、教育実習生のようなもの）が沢山気にかけてくださり、分からないことがあれば、分かるまで説明して下さりとても優しくかったです。時にはゲームのようなものをしたり、楽しい授業もありました。授業を通じて、勇気をだして行動すること、分からないことは、分からないと口に出して言うこと、自分の考えを相手に伝えようとする姿勢が何かを学ぶ時はとても重要で、殻に閉じこまらず、1歩踏み出すことが大切だと実感しました。

学校は大変だったのですが、友人とアンジェの街を散策したり、スーパーに買い物に行き、みんなで話しながら夕飯を食べたり、何気ないことがとても楽しく気分転換になっていました。夕食後は、話をしたり、トランプをして遊んだり、日本ではあまりしないことも沢山しました。学校主催の *soirée* では、川沿いで行われていた音楽フェスに行ったり、夕方にお店でカラオケをしたり、現地の雰囲気を楽しむことが出来ました。